搬送波のレベルと一ヘルツ当たりの妨害信号のレベルLとの差は、次の式の値以下であること。

なお、fは搬送波の中心周波数から１／７MHz減じた周波数と妨害信号の周波数との差（MHz）とする。

・fが−3.92MHz以下の場合：$L=26$［dB］

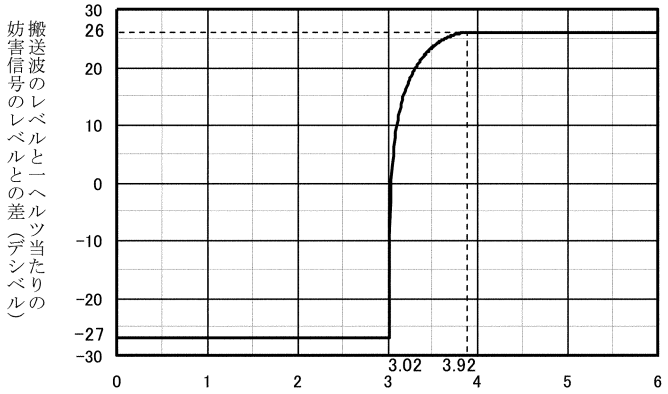
・fが−3.92MHzを超え−3.02MHz未満の場合：

$$L=26+20\log_{10}\left\{\sqrt{\frac{1}{2}\left(1-\sin\left(\frac{\pi}{2}\times\frac{2(f+6)-f_0}{\alpha\cdot f_0}\right)\right)}\right\}\ \text{［dB］}$$

ただし、$f_0=5.057$［MHz］、$\alpha=0.18$

・fが−3.02MHz以上の場合：$L=-27$［dB］

別図第十一号　標準デジタルテレビジョン放送方式の上側周波数のスペクトルマスク



搬送波の中心周波数から1/7MHz減じた周波数と妨害信号の周波数との差（メガヘルツ）

一ヘルツ当たりの搬送波のレベルの平均値を基準値（０dB）とする。

搬送波のレベルと一ヘルツ当たりの妨害信号のレベルLとの差は、次の式の値以下であること。

なお、fは搬送波の中心周波数から１／７MHz減じた周波数と妨害信号の周波数との差（MHz）とする。

・fが3.02MHz以下の場合：$L=-27$［dB］

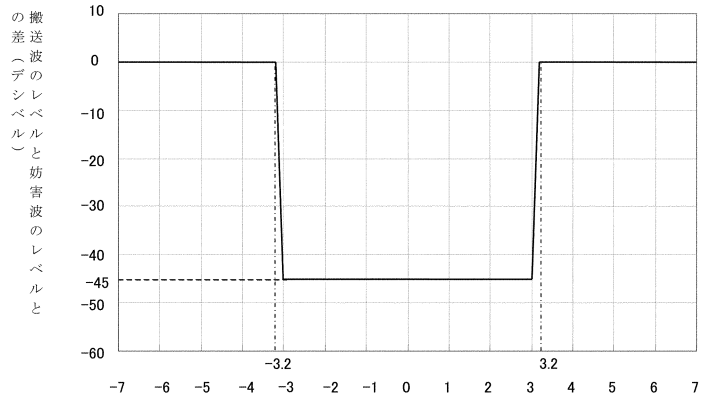
・fが3.02MHzを超え3.92MHz未満の場合：

$$L=26+20\log_{10}\left\{\sqrt{\frac{1}{2}\left(1+\sin\left(\frac{\pi}{2}\times\frac{2(f-6)+f_0}{\alpha\cdot f_0}\right)\right)}\right\}\ \text{［dB］}$$

ただし、$f_0=5.057$［MHz］、$\alpha=0.18$

・fが3.92MHz以上の場合：$L=26$［dB］

別図第十二号　標準デジタルテレビジョン放送方式のスペクトルマスク



搬送波周波数と妨害信号の周波数との差（メガヘルツ）

搬送波のレベルの平均値を基準値（０dB）とする。

別図第十三号　光波長多重による光波長間の妨害の評価試験系統図

